

指定管理者施設管理評価シート（H19）

| | | | |
|---|-------|---|-------|
| 部 | 保健福祉部 | 課 | 高齢福祉課 |
|---|-------|---|-------|

| | | | |
|-----|-------------------|----------|-------------------|
| 施設名 | あさくさ高齢者在宅サービスセンター | 指定管理者の名称 | 社会福祉法人 台東区社会福祉事業団 |
|-----|-------------------|----------|-------------------|

1. 指定管理者の概要（業務内容、指定管理者施設、経営の状況）

【概要】台東区社会福祉事業団は、台東区の児童及び高齢者福祉の充実を図るため、台東区が出資して1986（昭和61）年10月に設立した社会福祉法人である。

【事業内容】児童部門…児童館（7）、こどもクラブ（13）
 高齢者部門…特別養護老人ホーム（3）、高齢者在宅サービスセンター（4）、地区デイホーム（2）、ホームヘルプステーション（1）、在宅介護支援センター（3）、老人保健施設（1）、老人福祉センター（1）、老人福祉館（3）の運営

【経営の状況】（18年度決算ベース）
 〔社会福祉事業会計〕歳入 2,325,052,110円、歳出 2,307,580,095円、収支差額 17,472,015円
 〔公益事業特別会計〕歳入 332,675,271円、歳出 348,785,744円、収支差額 -16,110,473円

2. 施設の概要（施設の所在地・規模等 施設によるサービス提供の概要、特徴 入所者数・対象者数等）

【所在地】台東区浅草4-26-2
 【開設】昭和62年6月1日（20年経過）
 【建物概要】延べ床面積 4588㎡のうち517㎡ 特別養護老人ホーム浅草内
 鉄筋コンクリート造地上5階地下1階のうち5階の一部
 機能訓練室、食堂、休憩室、娯楽室、介護教室など
 【利用定員】45名
 【職員数】13名※施設長を除く（平成19年3月末現在）《内訳》施設長(1[兼務])、事務員(1)、介護職員(常勤4,非常勤7)、看護師(1)

3. 事業の概要、自主事業（事業によるサービス提供の概要、特徴 事業の目標(利用者数等) 自主事業）

【事業の概要】①通所介護サービス（送迎・入浴・食事・機能訓練・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談・栄養ケア・口腔ケア）、②介護予防通所介護サービス（送迎・入浴・食事・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談・運動器機能向上訓練・口腔ケア・栄養ケア・アクティビティ等）

【事業の特徴】事業団では、平成16年3月に「高齢者福祉施設運営方針」を策定。
 ①利用者本位のサービス提供、②地域福祉機能の充実、③透明性、信頼性の確保、④事業団らしさの発揮、⑤自立的、効率的運営の推進 の5つの基本方針を掲げている。

【自主事業】自主事業は行っていない。

4. 施設の稼働状況（利用実績（利用者数等）、目標値と実績値の比較、施設管理、トラブル事例等）

【稼働率目標】85%に設定。18年度の実績は一般77.5%、認知72.3%。（前年より一般5.5%減少）

【施設管理】昭和62年4月1日開設（開設後20年経過）のため、大規模修繕が必要。

◆18年度延べ利用人数

（一般デイ）

| 単位時間 | 4~5月 | 6~7月 | 8~9月 | 10~11月 | 12~1月 | 2~3月 | 計 |
|----------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|--------|
| 通所介護 6~8 | 694 | 629 | 638 | 588 | 551 | 536 | 3,636 |
| 通所介護 4~6 | 838 | 916 | 860 | 773 | 610 | 638 | 4,635 |
| 通所介護 3~4 | 211 | 240 | 208 | 179 | 137 | 134 | 1,109 |
| 通所介護 2~3 | 29 | 23 | 1 | 2 | 1 | 4 | 60 |
| 介護予防通所介護 | 28 | 138 | 237 | 258 | 240 | 312 | 1,213 |
| 計 | 1,800 | 1,946 | 1,944 | 1,800 | 1,539 | 1,624 | 10,653 |
| 利用率(%) | 78.4 | 84.8 | 82.1 | 76.9 | 74.3 | 70.8 | 77.5 |

（認知デイ）

| 単位時間 | 9~12月 | 1~3月 | 計 |
|----------|-------|------|-------|
| 通所介護 6~8 | 632 | 456 | 1,088 |
| 通所介護 4~6 | 248 | 226 | 474 |
| 通所介護 3~4 | 0 | 0 | 0 |
| 通所介護 2~3 | 0 | 0 | 0 |
| 介護予防通所介護 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 880 | 682 | 1,562 |
| 利用率(%) | 70.5 | 74.8 | 72.3 |

5. 予算決算の推移

（単位：円）

| | | 17年度 | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 |
|-----|-------|-------------|-------------|-------------|------|------|
| 予 算 | 貸借対当表 | 19,797,000 | 10,877,000 | 13,082,000 | | |
| | 料金収入等 | 83,568,000 | 124,727,000 | 121,131,000 | | |
| | 管理経費 | 103,365,000 | 135,604,000 | 134,213,000 | | |
| 決 算 | 貸借対当表 | 20,443,000 | 22,378,592 | | | |
| | 料金収入等 | 91,408,137 | 102,934,229 | | | |
| | 管理経費 | 89,472,545 | 115,127,790 | | | |
| | 収 支 | 22,378,592 | 10,185,031 | | | |

| | | |
|---|----|---|
| 6. 評価項目 | | |
| ①施設によるサービス提供 | | |
| (1)施設によるサービスが適切に提供されているか[3]、(2)施設サービス提供のための適正な人員配置[3] (3)設備・備品の貸出[3]、(4)利用者の安全確保[3]、(5)利用承認・案内等の対応と接遇[3] (6)緊急体制・マニュアル・研修・実際の対応[3] 【標準6項目、本施設は6項目を評価】 | | |
| ②事業 | | |
| (1)委託事業が適切に実施されているか[3]、(2)委託事業の実施のための適正な人員配置[3] (3)利用者の安全確保[3]、(4)情報提供・案内等の対応と接遇[4]、(5)緊急体制・マニュアル・研修・実際の対応[3] (6)自主事業は区民サービスの向上に貢献しているか[-] 【標準6項目、本施設は5項目を評価】 | | |
| ③施設の管理 | | |
| (1)建物躯体の保守管理・設備機器の安全確認[3]、(2)個人情報の保護[3]、(3)備品の管理[3] (4)清掃・警備・衛生管理[3]、(5)指定管理者が行う修繕[3]、(6)省エネ・省資源・環境配慮[3] (7)施設管理業務の外部委託[3]、(8)差医学・火災等への対応・防犯体制の整備[4] (9)関係団体・地域との連絡調整等[4]、(10)管理記録[3] 【標準10項目、本施設は10項目を評価】 | | |
| ④利用者の満足度等 | | |
| (1)利用者・第三者機関の評価[4]、(2)苦情等への対応と報告[3]、(3)利用者数等の目標達成度[4] 【標準3項目、本施設は3項目を評価】 | | |
| ⑤歳入歳出 | | |
| (1)適正な予算執行[4]、(2)経費の縮減、縮減努力[4]、(3)施設サービス・事業等の見直し[5] (4)利用者数増等による収支改善努力[3] 【標準4項目、本施設は4項目を評価】 | | |
| 7. 評価 | | |
| 「A+」（優良）：協定等の遵守に加えて、プラスアルファのサービス提供、利用者数の顕著な増加等の実績がある。 「A」（妥当）：協定等を遵守し、サービス水準、利用者数等の目標を達成している。 「A-」（課題あり）：協定等を遵守しているが、サービス水準、利用者数等の目標達成に一部課題がある。 「B」（要改善）：一部、協定等が遵守できていない、又は不測の事態等により目標に達していない。 | | |
| 評価の観点 | 評価 | 課題等 |
| ①施設によるサービス提供 | A | 良好なサービス提供が行われている。現在のサービス水準を落とさずに、より一層の利用者本位に立ったサービスを提供していく。 |
| ②事業（区の事業、自主事業） | A | 認知症対応型通所介護事業を開始し、認知症高齢者の増加に対応できる体制を強化した。また、介護予防通所介護事業を実施し、関係機関との密接な連携を図り、利用者の自立支援に向けた取組みを行っており、おおむね良好である。 |
| ③施設の管理（補修、緊急対応等） | A | 施設側で対応できる範囲においては良好な管理が行われている。施設の老朽化が激しいが、適切な管理により大きな不具合が発生することがなかったため、今後も良好な管理を行っていく。 |
| ④利用者の満足度等 | A | 一般デイ、認知症デイともに利用者満足度調査では、大多数が満足と回答(20項目)。 |
| ⑤歳入歳出 | A | 認知症デイサービスの開設にあたり、管理経費は増加しているが、全体としての見直しを図り縮減に努めている。 |
| ⑥総合評価 | A | 全体的に良好である。 |
| 8. 課題への対応等 | | |
| サービスの提供等、全体的に良好である。 今後も、現在のサービス水準を維持するとともに利用者本位のサービス向上を目指し、さらなる改善を検討していく。開設後20年経過している施設であるが、施設管理の面においては緊急度の高いものから工事等計画的に行うことにより適切な管理ができた。引き続き良好な維持管理を行っていく。 | | |

指定管理者施設管理評価シート（H19）

| | | | |
|---|-------|---|-------|
| 部 | 保健福祉部 | 課 | 高齢福祉課 |
|---|-------|---|-------|

| | | | |
|-----|------------------|----------|-------------------|
| 施設名 | うえの高齢者在宅サービスセンター | 指定管理者の名称 | 社会福祉法人 台東区社会福祉事業団 |
|-----|------------------|----------|-------------------|

1. 指定管理者の概要（業務内容、指定管理者施設、経営の状況）

【概要】台東区社会福祉事業団は、台東区の児童及び高齢者福祉の充実を図るため、台東区が出資して1986（昭和61）年10月に設立した社会福祉法人である。

【事業内容】児童部門…児童館（7）、こどもクラブ（13）
 高齢者部門…特別養護老人ホーム（3）、高齢者在宅サービスセンター（4）、地区ケアホーム（2）、ホームヘルプステーション（1）、在宅介護支援センター（3）、老人保健施設（1）、老人福祉センター（1）、老人福祉館（3）の運営

【経営の状況】（18年度決算ベース）
 [社会福祉事業会計] 歳入 2,325,052,110 円、歳出 2,307,580,095 円、収支差額 17,472,015 円
 [公益事業特別会計] 歳入 332,675,271 円、歳出 348,785,744 円、収支差額 -16,110,473 円

2. 施設の概要（施設の所在地・規模等、施設によるサービス提供の概要、特徴 入所者数・対象者数等）

【所在地】台東区東上野2-25-14
 【開設】平成元年4月1日（18年経過）
 【建物概要】延べ床面積 2130㎡のうち330㎡ 老人福祉センター内
 鉄筋コンクリート造地上5階地下1階のうち3階の一部
 【入所定員】25名
 【職員数】11名 ※施設長を除く（平成19年3月末現在） 《内訳》施設長（1〔兼務〕）、事務員（1）、介護職員（常勤2、非常勤7）、看護師（1）

3. 事業の概要、自主事業（事業によるサービス提供の概要・特徴 事業の目標（利用者数等）、自主事業）

【事業の概要】①通所介護サービス（送迎・入浴（一般浴のみ）・食事・機能訓練・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談・口腔ケア）、②介護予防通所介護サービス（送迎・入浴（一般浴のみ）・食事・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談・運動器機能向上訓練・アクティビティ等）

【事業の特徴】事業団では、平成16年3月に「高齢者福祉施設運営方針」を策定。
 ①利用者本位のサービス提供、②地域福祉機能の充実、③透明性、信頼性の確保、④事業団らしさの発揮、⑤自立的、効率的運営の推進 の5つの基本方針を掲げている。

【自主事業】自主事業は行っていない。

4. 施設の稼働状況（利用実績（利用者数等）、目標値と実績値の比較、施設管理、トラブル事例等）

【稼働率目標】85%に設定。18年度の実績は77.8%。（前年度より6.2%上昇）
 【施設管理】平成元年8月1日開設（開設後18年経過）のため、計画的な修繕・保全が必要。

◆ 18年度延べ利用人数

| 単位時間 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|----------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 通所介護 6~8 | 203 | 176 | 204 | 231 | 245 | 204 | 202 | 192 | 196 | 161 | 151 | 184 | 2,349 |
| 通所介護 4~6 | 0 | 0 | 0 | 227 | 248 | 235 | 233 | 215 | 247 | 229 | 218 | 253 | 2,105 |
| 通所介護 3~4 | 178 | 190 | 219 | 76 | 61 | 71 | 65 | 80 | 77 | 67 | 68 | 78 | 1,230 |
| 通所介護 2~3 | 7 | 13 | 10 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 30 |
| 介護予防通所介護 | 62 | 50 | 65 | 42 | 59 | 95 | 104 | 109 | 111 | 142 | 142 | 163 | 1,144 |
| 計 | 450 | 429 | 498 | 576 | 613 | 605 | 604 | 596 | 631 | 599 | 579 | 678 | 6,858 |
| 利用率(%) | 72.0 | 62.1 | 76.6 | 88.6 | 75.6 | 77.6 | 77.4 | 76.4 | 80.8 | 79.8 | 80.4 | 83.7 | 77.8 |

5. 予算決算の推移

(単位：円)

| | | 17年度 | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 |
|-----|------------|------------|------------|------------|------|------|
| 予 算 | 負担金補助及び交付金 | 24,089,000 | 24,008,000 | 27,514,000 | | |
| | 料金収入等 | 54,191,000 | 55,776,000 | 57,881,000 | | |
| | 管理経費 | 78,280,000 | 79,784,000 | 85,395,000 | | |
| 決 算 | 負担金補助及び交付金 | 24,089,000 | 24,008,000 | | | |
| | 料金収入等 | 48,092,963 | 59,373,253 | | | |
| | 管理経費 | 69,234,463 | 70,834,505 | | | |
| | 収 支 | 2,947,500 | 12,546,748 | | | |

| | | |
|---|-----------|--|
| 6. 評価項目 | | |
| ①施設によるサービス提供 | | |
| (1)施設によるサービスが適切に提供されているか[3]、(2)施設サービス提供のための適正な人員配置[3] (3)設備・備品の貸出[3]、(4)利用者の安全確保[3]、(5)利用承認・案内等の対応と接遇[3] (6)緊急体制・マニュアル・研修・実際の対応[3] 【標準6項目、本施設は6項目を評価】 | | |
| ②事業 | | |
| (1)委託事業が適切に実施されているか[3]、(2)委託事業の実施のための適正な人員配置[3] (3)利用者の安全確保[3]、(4)情報提供・案内等の対応と接遇[3]、(5)緊急体制・マニュアル・研修・実際の対応[3] (6)自主事業は区民サービスの向上に貢献しているか[-] 【標準6項目、本施設は5項目を評価】 | | |
| ③施設の管理 | | |
| (1)建物躯体の保守管理・設備機器の安全確認[3]、(2)個人情報の保護[3]、(3)備品の管理[3] (4)清掃・警備・衛生管理[3]、(5)指定管理者が行う修繕[3]、(6)省エネ・省資源・環境配慮[3] (7)施設管理業務の外部委託[3]、(8)災害・火災等への対応・防犯体制の整備[3] (9)関係団体・地域との連絡調整等[3]、(10)管理記録[3] 【標準10項目、本施設は10項目を評価】 | | |
| ④利用者の満足度等 | | |
| (1)利用者・第三者機関の評価[4]、(2)苦情等への対応と報告[3]、(3)利用者数等の目標達成度[3] 【標準3項目、本施設は3項目を評価】 | | |
| ⑤歳入歳出 | | |
| (1)適正な予算執行[3]、(2)経費の縮減、縮減努力[3]、(3)施設サービス・事業等の見直し[3] (4)利用者数増等による収支改善努力[3] 【標準4項目、本施設は4項目を評価】 | | |
| 7. 評価 | | |
| 「A+」(優良)：協定等の遵守に加えて、プラスアルファのサービス提供、利用者数の顕著な増加等の実績がある。 「A」(妥当)：協定等を遵守し、サービス水準、利用者数等の目標を達成している。 「A-」(課題あり)：協定等を遵守しているが、サービス水準、利用者数等の目標達成に一部課題がある。 「B」(要改善)：一部、協定等が遵守できていない、又は不測の事態等により目標に達していない。 | | |
| 評価の観点 | 評価 | 課題等 |
| ①施設によるサービス提供 | A | 利用者からの評価も全体的に高く、良好なサービス提供が行われている。現在のサービス水準を落とさずに、より一層の質の高いサービスを提供していく。 |
| ②事業(区の事業、自主事業) | A | 稼働率が目標値に比べてやや低い傾向にあるが、前年度に比べ上昇しており、概ね良好である。また、介護予防通所介護事業では、マシンを使用した筋力向上トレーニングを実施し利用者の自立支援に向けた取り組みを行った。地域の高齢者団体からボランティアによる補助を受けたり、逆に団体の活動を支援するなど、地域との連携が図られた。 |
| ③施設の管理(補修、緊急対応等) | A | 平成12年に建物全体の改修を行っており、現在は安定した状態にある。今後とも計画的な修繕、保全に努める。 |
| ④利用者の満足度等 | A | 18年度第三者評価利用者調査では、職員の接遇や傾聴に対して高い評価を得ている。また、利用者満足度調査でも、大多数が満足と回答(19項目)。約91%が、施設が楽しいところであると回答している。 |
| ⑤歳入歳出 | A | 筋力向上トレーニング等の業務委託費の増加に伴う経費の増加であるため縮減は難しい。 |
| ⑥総合評価 | A | 管理経費の項目を除いて、概ね良好である。 |
| 8. 課題への対応等 | | |
| サービスの提供等、全体的に良好である。 今後も、現在のサービス水準を維持するとともに利用者本位のサービス向上を目指し、さらなる改善を検討していく。開設後18年経過している施設であるが、施設管理の面においては緊急度の高いものから工事等計画的に行うことにより適切な管理ができていく。引き続き良好な維持管理を行っていく。介護予防事業についてはさらなる推進のために、併設の老人福祉センターと連携して専門職員としてのノウハウを活用した効果的なサービスを提供していく。 | | |

指定管理者施設管理評価シート（H19）

| | | | |
|---|-------|---|-------|
| 部 | 保健福祉部 | 課 | 高齢福祉課 |
|---|-------|---|-------|

| | | | |
|-----|------------------|----------|-------------------|
| 施設名 | やなか高齢者在宅サービスセンター | 指定管理者の名称 | 社会福祉法人 台東区社会福祉事業団 |
|-----|------------------|----------|-------------------|

1. 指定管理者の概要（業務内容、指定管理者施設、経営の状況）

【概要】台東区社会福祉事業団は、台東区の児童及び高齢者福祉の充実を図るため、台東区が出資して1986（昭和61）年10月に設立した社会福祉法人である。

【事業内容】児童部門…児童館（7）、こどもクラブ（13）
 高齢者部門…特別養護老人ホーム（3）、高齢者在宅サービスセンター（4）、地区ケアホーム（2）、ホームヘルプステーション（1）、在宅介護支援センター（3）、老人保健施設（1）、老人福祉センター（1）、老人福祉館（3）の運営

【経営の状況】（18年度決算ベース）
 [社会福祉事業会計] 歳入 2,325,052,110 円、歳出 2,307,580,095 円、収支差額 17,472,015 円
 [公益事業特別会計] 歳入 332,675,271 円、歳出 348,785,744 円、収支差額 -16,110,473 円

2. 施設の概要（施設の所在地・規模等、施設によるサービス提供の概要、特徴 入所者数・対象者数等）

【所在地】台東区谷中2-17-20
 【開設】平成元年6月1日（18年経過）
 【建物概要】延べ床面積 2794㎡のうち490㎡ 特別養護老人ホーム谷中内鉄筋コンクリート造地上3階地下1階のうち1階の一部
 【入所定員】35名
 【職員数】13名 ※施設長を除く（平成19年3月末現在） 《内訳》施設長（1〔兼務〕）、事務員（1）、相談員（1）、介護職員（常勤3、非常勤6）、看護師（1）、准看護師（非常勤1）

3. 事業の概要、自主事業（事業によるサービス提供の概要・特徴 事業の目標（利用者数等）、自主事業）

【事業の概要】①通所介護サービス（送迎・入浴・食事・機能訓練・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談・栄養ケア・口腔ケア）、②介護予防通所介護サービス（送迎・入浴・食事・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談・運動器機能向上訓練・口腔ケア・栄養ケア・アクティビティ等）（定員は2つの事業を合わせて1日あたり35名）

【事業の特徴】事業団では、平成16年3月に「高齢者福祉施設運営方針」を策定。
 ①利用者本位のサービス提供、②地域福祉機能の充実、③透明性、信頼性の確保、④事業団らしさの発揮、⑤自立的、効率的運営の推進 の5つの基本方針を掲げている。

【自主事業】自主事業は行っていない。

4. 施設の稼働状況（利用実績（利用者数等）、目標値と実績値の比較、施設管理、トラブル事例等）

【稼働率目標】85%に設定。18年度の実績は92.6%。（前年度より8.5%上昇）
 【施設管理】平成元年6月1日開設（開設後18年経過）のため、大規模修繕が必要。

◆ 18年度延べ利用人数

| 単位時間 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|----------|------|------|------|------|------|------|------|-------|------|------|------|------|--------|
| 通所介護 6~8 | 601 | 684 | 689 | 673 | 683 | 609 | 635 | 687 | 621 | 629 | 564 | 569 | 7,644 |
| 通所介護 4~6 | 100 | 103 | 96 | 112 | 122 | 104 | 118 | 103 | 87 | 102 | 94 | 121 | 1,262 |
| 通所介護 3~4 | 22 | 26 | 17 | 16 | 15 | 11 | 20 | 11 | 17 | 10 | 18 | 8 | 191 |
| 通所介護 2~3 | 12 | 4 | 9 | 2 | 5 | 0 | 6 | 4 | 2 | 0 | 2 | 1 | 47 |
| 介護予防通所介護 | 7 | 32 | 32 | 31 | 48 | 85 | 100 | 113 | 107 | 100 | 117 | 159 | 931 |
| 計 | 742 | 849 | 843 | 834 | 873 | 809 | 879 | 918 | 834 | 841 | 795 | 858 | 10,075 |
| 利用率(%) | 84.8 | 89.8 | 92.6 | 91.6 | 92.4 | 88.9 | 96.6 | 100.9 | 91.6 | 96.1 | 94.6 | 90.8 | 92.6 |

5. 予算決算の推移

（単位：円）

| | | 17年度 | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 |
|-----|------------|------------|------------|------------|------|------|
| 予 算 | 負担金補助及び交付金 | 20,818,000 | 18,599,000 | 14,405,000 | | |
| | 料金収入等 | 75,779,000 | 77,254,000 | 75,984,000 | | |
| | 管理経費 | 96,597,000 | 95,853,000 | 90,389,000 | | |
| 決 算 | 負担金補助及び交付金 | 29,827,485 | 18,599,000 | | | |
| | 料金収入等 | 83,701,577 | 95,530,493 | | | |
| | 管理経費 | 96,780,696 | 95,554,335 | | | |
| | 収 支 | 16,748,366 | 18,575,158 | | | |

| | | |
|--|-----------|--|
| 6. 評価項目 | | |
| ①施設によるサービス提供 | | |
| (1)施設によるサービスが適切に提供されているか[3]、(2)施設サービス提供のための適正な人員配置[3] (3)設備・備品の貸出[3]、(4)利用者の安全確保[3]、(5)利用承認・案内等の対応と接遇[3] (6)緊急体制・マニュアル・研修・実際の対応[3] 【標準6項目、本施設は6項目を評価】 | | |
| ②事業 | | |
| (1)委託事業が適切に実施されているか[3]、(2)委託事業の実施のための適正な人員配置[3] (3)利用者の安全確保[3]、(4)情報提供・案内等の対応と接遇[4]、(5)緊急体制・マニュアル・研修・実際の対応[3] (6)自主事業は区民サービスの向上に貢献しているか[-] 【標準6項目、本施設は5項目を評価】 | | |
| ③施設の管理 | | |
| (1)建物躯体の保守管理・設備機器の安全確認[3]、(2)個人情報の保護[3]、(3)備品の管理[3] (4)清掃・警備・衛生管理[3]、(5)指定管理者が行う修繕[3]、(6)省エネ・省資源・環境配慮[3] (7)施設管理業務の外部委託[3]、(8)災害・火災等への対応・防犯体制の整備[3] (9)関係団体・地域との連絡調整等[4]、(10)管理記録[3] 【標準10項目、本施設は10項目を評価】 | | |
| ④利用者の満足度等 | | |
| (1)利用者・第三者機関の評価[3]、(2)苦情等への対応と報告[3]、(3)利用者数等の目標達成度[3] 【標準3項目、本施設は3項目を評価】 | | |
| ⑤歳入歳出 | | |
| (1)適正な予算執行[4]、(2)経費の縮減、縮減努力[4]、(3)施設サービス・事業等の見直し[3] (4)利用者数増等による収支改善努力[3] 【標準4項目、本施設は4項目を評価】 | | |
| 7. 評価 | | |
| 「A+」(優良)：協定等の遵守に加えて、プラスアルファのサービス提供、利用者数の顕著な増加等の実績がある。 「A」(妥当)：協定等を遵守し、サービス水準、利用者数等の目標を達成している。 「A-」(課題あり)：協定等を遵守しているが、サービス水準、利用者数等の目標達成に一部課題がある。 「B」(要改善)：一部、協定等が遵守できていない、又は不測の事態等により目標に達していない。 | | |
| 評価の観点 | 評価 | 課題等 |
| ①施設によるサービス提供 | A | 良好なサービスが提供されている。現在のサービス水準を落とさずに、より質の高いサービスの提供を図っていく。 |
| ②事業(区の事業、自主事業) | A | おおむね良好である。利用率は前年度に比べ上昇し、目標値を達成した。引き続き良好なサービス提供を行っていく。また、介護予防通所介護事業を実施については、関係機関との密接な連携を図り、利用者の自立支援に向けた取組みを行った。 |
| ③施設の管理(補修、緊急対応等) | A | 適切な日常の点検及び清掃等により、緊急な工事・修繕もなく良好な管理が行われている。 |
| ④利用者の満足度等 | A | 利用者からの苦情等はみられないことから、概ね良好に運営されている。今後は全体的に活用できる利用者アンケートとして、実施内容について企画設計していく必要がある。 |
| ⑤歳入歳出 | A | 引続き管理費等は縮減されているが、業務委託費についてやや増加傾向が見られるため委託内容の見直し等を行い削減に努める。 |
| ⑥総合評価 | A | 全体的に良好である。 |
| 8. 課題への対応等 | | |
| サービスの提供等、全体的に良好である。 今後も、現在のサービス水準を維持するとともに利用者本位のサービス向上を目指し、さらなる改善を検討していく。開設後18年経過している施設であるが、施設管理の面においては緊急度の高いものから工事等計画的に行うことにより適切な管理ができた。引き続き良好な維持管理を行っていく。 | | |

指定管理者施設管理評価シート（H19）

| | | | |
|---|-------|---|-------|
| 部 | 保健福祉部 | 課 | 高齢福祉課 |
|---|-------|---|-------|

| | | | |
|-----|------------------|----------|-------------------|
| 施設名 | みのわ高齢者在宅サービスセンター | 指定管理者の名称 | 社会福祉法人 台東区社会福祉事業団 |
|-----|------------------|----------|-------------------|

1. 指定管理者の概要（業務内容、指定管理者施設、経営の状況）

【概要】台東区社会福祉事業団は、台東区の児童及び高齢者福祉の充実を図るため、台東区が出資して1986（昭和61）年10月に設立した社会福祉法人である。

【事業内容】児童部門…児童館（7）、こどもクラブ（13）
 高齢者部門…特別養護老人ホーム（3）、高齢者在宅サービスセンター（4）、地区デイホーム（2）、ホームヘルプステーション（1）、在宅介護支援センター（3）、老人保健施設（1）、老人福祉センター（1）、老人福祉館（3）の運営

【経営の状況】（18年度決算ベース）
 〔社会福祉事業会計〕歳入 2,325,052,110円、歳出 2,307,580,095円、収支差額 17,472,015円
 〔公益事業特別会計〕歳入 332,675,271円、歳出 348,785,744円、収支差額 -16,110,473円

2. 施設の概要（施設の所在地・規模等、施設によるサービス提供の概要、特徴 入所者数・対象者数等）

【所在地】台東区三ノ輪1-27-11【開設】平成6年7月1日（13年経過）

【建物概要】延べ床面積 9617㎡のうち2002㎡ 三ノ輪福祉センター内、鉄骨鉄筋コンクリート造地上9階地下2階のうち3・4階の一部、デイホーム、認知症デイホーム、機械浴室など

【利用定員】一般40名、認知症12名、

【職員数】28名 ※施設長を除く（平成19年3月末現在）《内訳》施設長（1〔兼務〕）、事務員（1）、介護職員（常勤12、非常勤7）、看護師（2）、ホームヘルパー（非常勤6）

3. 事業の概要、自主事業（事業によるサービス提供の概要・特徴 事業の目標(利用者数等)、自主事業）

【事業の概要】①通所介護サービス（送迎・入浴・食事・機能訓練・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談・栄養ケア・口腔ケア）、②介護予防通所介護サービス（送迎・入浴・食事・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談・運動器機能向上訓練・口腔ケア・栄養ケア・アクティビティ等）③ホームヘルプサービス（身体介護、生活援助、介護相談、介護予防訪問介護）

【事業の特徴】事業団では、平成16年3月に「高齢者福祉施設運営方針」を策定。

①利用者本位のサービス提供、②地域福祉機能の充実、③透明性、信頼性の確保、④事業団らしさの発揮、⑤自立的、効率的運営の推進 の5つの基本方針を掲げている。

【自主事業】自主事業は行っていない。

4. 施設の稼働状況（利用実績（利用者数等）、目標値と実績値の比較、施設管理、トラブル事例等）

【稼働率目標】一般デイ、認知デイともに85%に設定。18年度の実績は一般デイ79.0%、認知デイ81.1%。（前年度より一般6.7%上昇、認知9.8%減少）

【施設管理】平成6年7月1日開設（開設後13年経過）のため、計画的な保全が必要。

◆ 18年度延べ利用人数

（一般デイ）

（認知症デイ）

（訪問介護：合計年間）

| 単位時間 | 4~7月 | 8~11月 | 12~3月 | 計 |
|----------|-------|-------|-------|-------|
| 通所介護 6~8 | 1,360 | 1,376 | 1,236 | 3,972 |
| 通所介護 4~6 | 1,475 | 1,415 | 1,409 | 4,299 |
| 通所介護 3~4 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 通所介護 2~3 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 介護予防通所介護 | 211 | 553 | 794 | 1,558 |
| 計 | 3,046 | 3,344 | 3,439 | 9,829 |
| 利用率(%) | 73.2 | 79.6 | 81.9 | 79.0 |

| 単位時間 | 4~7月 | 8~11月 | 12~3月 | 計 |
|----------|-------|-------|-------|-------|
| 通所介護 6~8 | 902 | 788 | 771 | 2,461 |
| 通所介護 4~6 | 182 | 191 | 191 | 564 |
| 通所介護 3~4 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 通所介護 2~3 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 介護予防通所介護 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 1,084 | 979 | 962 | 3,025 |
| 利用率(%) | 85.2 | 77.7 | 78.0 | 81.1 |

| | 回数 | 時間数 |
|-------|-------|---------|
| 身体介護 | 7,831 | 5,582.8 |
| 生活介護 | 4,091 | 4,373.0 |
| 身体・生活 | 902 | 1,503.4 |
| 介護予防 | 1,557 | 1,906.4 |

5. 予算決算の推移

（単位：円）

| | | 17年度 | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 |
|-----|------------|-------------|-------------|-------------|------|------|
| 予 算 | 負担金補助及び交付金 | 54,139,000 | 41,410,000 | 30,259,000 | | |
| | 料金収入等 | 174,205,000 | 177,373,000 | 162,518,000 | | |
| | 管理経費 | 228,344,000 | 218,783,000 | 192,777,000 | | |
| 決 算 | 負担金補助及び交付金 | 54,901,000 | 41,410,000 | | | |
| | 料金収入等 | 154,300,312 | 166,170,585 | | | |
| | 管理経費 | 193,848,195 | 189,035,038 | | | |
| | 収 支 | 15,353,117 | 18,545,547 | | | |

| | | |
|--|-----------|---|
| 6. 評価項目 | | |
| ①施設によるサービス提供 | | |
| (1)施設によるサービスが適切に提供されているか[3]、(2)施設サービス提供のための適正な人員配置[3] (3)設備・備品の貸出[3]、(4)利用者の安全確保[3]、(5)利用承認・案内等の対応と接遇[3] (6)緊急体制・マニュアル・研修・実際の対応[3] 【標準6項目、本施設は6項目を評価】 | | |
| ②事業 | | |
| (1)委託事業が適切に実施されているか[3]、(2)委託事業の実施のための適正な人員配置[3] (3)利用者の安全確保[3]、(4)情報提供・案内等の対応と接遇[4]、(5)緊急体制・マニュアル・研修・実際の対応[3] (6)自主事業は区民サービスの向上に貢献しているか[-] 【標準6項目、本施設は5項目を評価】 | | |
| ③施設の管理 | | |
| (1)建物躯体の保守管理・設備機器の安全確認[3]、(2)個人情報の保護[3]、(3)備品の管理[3] (4)清掃・警備・衛生管理[3]、(5)指定管理者が行う修繕[3]、(6)省エネ・省資源・環境配慮[3] (7)施設管理業務の外部委託[3]、(8)災害・火災等への対応・防犯体制の整備[3] (9)関係団体・地域との連絡調整等[4]、(10)管理記録[3] 【標準10項目、本施設は10項目を評価】 | | |
| ④利用者の満足度等 | | |
| (1)利用者・第三者機関の評価[3]、(2)苦情等への対応と報告[3]、(3)利用者数等の目標達成度[3] 【標準3項目、本施設は3項目を評価】 | | |
| ⑤歳入歳出 | | |
| (1)適正な予算執行[3]、(2)経費の縮減、縮減努力[4]、(3)施設サービス・事業等の見直し[3] (4)利用者数増等による収支改善努力[3] 【標準4項目、本施設は4項目を評価】 | | |
| 7. 評価 | | |
| 「A+」（優良）：協定等の遵守に加えて、プラスアルファのサービス提供、利用者数の顕著な増加等の実績がある。 「A」（妥当）：協定等を遵守し、サービス水準、利用者数等の目標を達成している。 「A-」（課題あり）：協定等を遵守しているが、サービス水準、利用者数等の目標達成に一部課題がある。 「B」（要改善）：一部、協定等が遵守できていない、又は不測の事態等により目標に達していない。 | | |
| 評価の観点 | 評価 | 課題等 |
| ①施設によるサービス提供 | A | 良好なサービス提供が行われている。現在のサービス水準維持し、より一層利用者本位のサービス提供に向けた取組みを検討する。 |
| ②事業（区の事業、自主事業） | A | おおむね良好である。稼働率の目標達成を目指し、一般デイは稼働率が上昇した。認知デイの稼働率については、やや減少傾向にある。18年度からの介護予防通所介護事業実施については、関係機関との密接な連携を図り、利用者の自立支援に向けた取組みを行った。 |
| ③施設の管理（補修、緊急対応等） | A | 適切な日常の点検及び清掃等により、緊急な工事・修繕もなく良好な管理が行われている。 |
| ④利用者の満足度等 | A | 18年度第三者評価の利用者調査では、一般デイ、認知症デイともに総じて高い評価を得ている。施設が実施する利用者アンケートについては、全体的に活用できる利用者アンケートとして、実施内容について企画設計していく必要がある。 |
| ⑤歳入歳出 | A | 管理経費について縮減がなされている。 |
| ⑥総合評価 | A | 全体的に良好である。 |
| 8. 課題への対応等 | | |
| サービスの提供等、全体的に良好である。 今後も、現在のサービス水準を維持するとともに利用者本位のサービス向上を目指し、さらなる改善を検討していく。開設後13年経過している施設であるが、施設管理の面においては緊急度の高いものから工事等計画的に行うことにより適切な管理ができた。引き続き良好な維持管理を行っていく。 | | |